

一般質問通告表

令和5年第3回始良市議会定例会（9月4日）

<p>7. 塩入 英明</p>	<p>1. 認可地縁団体（自治会）について</p>	<p>様々な認可地縁団体がある。自治会長、自治会員の困りごとなど自治会について以下を問う。</p> <p>(1) 本市の認可地縁団体数を示せ。</p> <p>(2) 区域・構成員について</p> <p>①認可地縁団体とは町又は字の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体と認識されている。自営業者、会社は住所を有する者に該当するのか。</p> <p>②田・畑は区域内に該当するのか。</p> <p>③区域内の世帯数「中央値」について問う。</p> <p>(3) 地縁による団体が法人格を得るためには、市町村長の認可が必要である。認可を受けるために必要な要件について問う。</p> <p>(4) 認可地縁団体規約（自治会会則）について</p> <p>①認可地縁団体規約例は本市で準備されているのか。</p> <p>②認可地縁団体の規約変更認可申請（自治会会則 改正）は、総会決議が必要か。</p>	<p>市長</p>
	<p>2. 自治会の高齢者支援活動について</p>	<p>(1) 「自治会活動実績報告書」の中で添付資料高齢者支援活動（保健福祉活動）報告書がある。この高齢者支援活動報告書は個人情報の取扱いになるのか本市の考え方を問う。</p> <p>(2) 高齢者支援活動には、ゴミ出し支援、回覧板受渡し支援、日常生活の見守り・声かけ支援など該当すると思う。他にどのような支援活動が該当するのか。</p>	<p>市長</p>

<p>3. P F I 事業活用について</p>	<p>(1) 始良市 P F I 事業ガイドラインの策定について検討されているのか。</p> <p>(2) 始良市における P F I に関する取組を全庁的に推進するための方策について検討しているのか。</p> <p>(3) P F I ガイドラインについて</p> <p>①公共性、民間経営資源活用、公平性、透明性、効率性などのような性格を持つことが求められると思うが、本市の考え方を問う。</p> <p>②公共サービス水準の評価等を客観的に行うこと、P F I 事業の特性や内容を考慮しつつできる限り具体的に規定すること、P F I 事業の安定継続を図るため P F I 事業者は親会社とは独立した法人格を持つこと、などが求められると思うが、本市の考え方を問う。</p> <p>③ P F I 事業の性能発注について、発注者が求めるサービス水準（経済効用・満足度）を明らかにし、水準達成の具体的な方法等は民間事業者の提案に委ねる性能発注を基本とすることと解釈しているが、本市の考え方を問う。</p> <p>④仮に実績が定められたサービス水準を下回った場合と上回った場合の対応について本市の考え方を問う。</p> <p>(4) P F I 手法で整備予定の始良市新学校給食センター整備にかかるゾーニング・外構計画について</p> <p>①建物の外周に保全、メンテナンス等を考慮した構内道路等を確保することができるのか問う。</p> <p>②駐車場の不足分については、敷地外へ駐車場の確保を検討することになっているが、確保の目途について問う。</p>	<p>市長 教育長</p>
--------------------------	---	-------------------

		<p>コミュニティ協議会を大きく支えている自治会の加入者数の減少は、今後の各校区コミュニティ協議会運営において、担い手不足、人材不足が懸念される。そのような中で、コミュニティ協議会と自治会、市とコミュニティ協議会は、どのように連携し、コミュニティ活性化・地域活性化へどのような支援を検討しているのか。</p> <p>(5) 教育委員会は、各小学校区にSSVCを中学校区にSSVC統括コーディネーターがいる。学校と地域を強く結ぶ上でも、SSVCは校区コミュニティ協議会に属させるべきと考えるが教育委員会の考えを示せ。</p>	
9. 竹下 日出志	<p>1. 心のサポーター養成制度の充実について</p> <p>2. 子どもの悩み相談について</p>	<p>うつ病などの精神疾患が増加傾向にある。5人に1人が一生のうち何らかの精神疾患になるという研究結果もあり、誰もがかかり得る病気である。</p> <p>心のサポーターは、精神疾患について正しい知識を持ち、地域や職場などで、うつ病やストレスなどの精神的不調に悩む人の相談に乗ったり、自治体の支援窓口を案内する役割を果たす。</p> <p>本市でも「心のサポーター」養成研修を実施する考えはないか。</p> <p>夏休み前後に気持ちが不安定になる子どもが増える傾向にあるため、厚生労働省などが悩みを1人で抱え込まないように相談窓口の周知を強化している。</p> <p>「悩みがあったらSOSを伝えてほしい。周りの人にも、気になる子がいたら声をかけて」と呼び掛けている。</p> <p>本市では、子どもの悩み相談をどのように考えているか。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>

	3. 図書館サービスについて	<p>(1) 「読書バリアフリー法」に基づく、障がいのある方への図書館利用促進等の具体的な図書館サービスの提供について問う。</p> <p>(2) 電子書籍貸出サービスは、電子図書館に登録された電子書籍について図書館利用者登録者がスマートフォンやパソコンなどを使って24時間、365日いつでも予約し、閲覧できるサービスである。本市でも、電子書籍貸出サービスを導入する考えはないか。</p>	市長 教育長
10. 新福 愛子	1. HPV (ヒトパピローマウイルス) が引き起こすがん撲滅について	<p>2023年6月、国立がん研究センターは HPV (ヒトパピローマウイルス) が引き起こす子宮頸がんの国内の現状や予防策をまとめた報告書を公表した。報告書では子宮頸がんの死亡率が減少傾向の諸外国に対し、国内では横ばいが続いているデータが紹介されている。令和4年度にはHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、あわせて積極的勧奨差し控えの影響を受けた世代に対してもキャッチアップ接種が開始された。子宮頸がん等のがん撲滅のために以下を問う。</p> <p>(1) 令和4年度および直近までのキャッチアップ接種対象者の人数と接種率を問う。</p> <p>(2) 令和6年度に対象の最終期限を迎える高校1年生およびキャッチアップ接種対象の高校2年生から27歳相当の未接種者全員に対し、最終期限のお知らせ通知を送るべきと考える。本市はいつ・どのような内容で実施する予定かを問う。</p>	市長 教育長

	<p>2. こども消防・防災フェスタについて</p> <p>3. 空襲の日・平和の集いについて</p>	<p>(3) HPVワクチンの男性への接種費用の助成を開始する自治体が増えている。男性への接種の意義は何か。</p> <p>また、本市において検討する考えはないか。</p> <p>8月6日「こども消防・防災フェスタ2023」が開催された。これまでの取組をバージョンアップした内容で多くの参加者があった。</p> <p>そこで以下を問う。</p> <p>(1) フェスタの成果と今後の展望を問う。</p> <p>(2) ペット同行避難についての講演会も好評であったが、日頃のしつけ等、飼い主に向けた啓発の必要性を感じた。今後の取組をどのように考えるか。</p> <p>終戦から今年で78年。終戦直前の8月11日に起こった加治木空襲の記憶を語り伝えようと「空襲の日・平和の集い」が18回目を迎えた。戦争体験を直接聴き、戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐ貴重なこの集いについて以下を問う。</p> <p>(1) 錦江校区コミュニティ協議会の取組を市としてどのように評価しているか。</p> <p>(2) 2年後の令和7年、終戦から80年という大きな節目にこの集いも20回目を迎える。市としてこの節目に何らかの形で支援を検討できないか。</p> <p>(3) この集いの他にも、爆撃を受けた旧制加治木中学（現・加治木高校）では、4月の創立記念日に合わせて毎年慰霊祭を開き、空襲などで犠牲となった16人を追悼している。また核兵器の恐ろしさと被爆者の苦悩を風化させてはならないと、「原爆と人間」展も</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>
--	---	---	-------------------------------------

		<p>市民グループによって毎年開催されている。</p> <p>平和を希求する市民の思いを「平和都市宣言」または「非核・平和のまち宣言」等、検討できないか。</p>	
--	--	---	--